オーディオ実験室収載

ZANDEN Model 120 の導入(4)
－総合試聴(1)－

１．始めに

バランスアナログアキュライザーに興味を持たれてご来臨いただいた ST 氏にその効果の確認と今回導入した ZANDEN のフォノイコライザーModel 120 の試聴をお願いしました。

２．バランスアナログアキュライザーと ZANDEN Model 120 の試聴方法

ディジタル音源の再生は、オーディオ資料室掲載の再生経路と変更点８のとおりです。バランスアナログアキュライザーとアナログアキュライザーの使用箇所は、バランスアナログアキュライザーの活用(5)に整理されています。

アナログ音源の再生では、カートリッジは、My Sonic Signature Gold で、接続に関しては、ZANDEN Model 120 の導入(2)と同様、下記のとおりとします。

LP-12→(フォノケーブル)→AACU-1000→Model120(アンバランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランス／バランス変換ケーブル)→P&G フェーダー(バランス入力端子→バランス出力端子) →BACU-2000→300B シングルアンプ(バランス入力端子)

音源としては、当方が普段聴くことの少ない、下記のクラシック以外のジャンルの音源を選んで聴いていただきました。

CD

Universal Music UCCV-1150 Wallflower
Diana Jean Krall

Universal Music UICY-1311/2 The 10th Anniversary Edition
Carpenters

Verve 549-846-2 The Look of Love
Diana Jean Krall

OFICCE55（Freak）CX-1027
Carpenters

アナログ盤

Verve (Universal Music)　3790592　Wallflower
Diana Jean Krall

A&M(キングレコード)　GP-235　　HOROZON CARPENTERS
Carpenters

PRESTAGE　7003　 Milt Jacson Quartet
ミルトジャクソンカルテット
ATRANTIC　1284　 The Sun in the Voice
MJQ
Three Blind Mice　TBM(P)-2559　 GIRL TALK
YAMA & JIRO's WAVE
アルファレコード 28R1-13（ワーナーパイニア）Wind and My Mind
鈴木章治とリズムエース
LINN RECORD　AKH005　Jazz ボーカル
Carol Kidd
Angel AA8109（東芝 EMI）モーツアルト歌曲集
シュワルツコップ(Sp)　ギーゼピング(pf)
Angel AA 9117・C（東芝 EMI）
ゲオルグ・フリードリッヒ・ヘンデル：メサイア
オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア
キングレコード SKA-104　愛と自然の歌
倍賞千恵子

３．バランスアナログアキュライザーと ZANDEN Model 120 の試聴結果
バランスアナログアキュライザーとアナログアキュライザーの使用箇所は、バランスアナログアキュライザーの活用(5)に示されています。
なお、ST 氏の来訪に先立ち、修理、調整等を依頼していた LINN ショップにも聴いていただきました。
最初に CD を Brooklyn DAC+の位相反転機能を活用しながら、聴いて行きました。
当方で準備した Diana Jean Krall の Wallflower の CD と Carpenters の
The 10th Anniversary Edition の CD から 1 曲ずつ聴いていただき、それぞれ位相反転させた方が、ボーカルや音がすっきりする、バックのコーラスが濁らないなどのご感想でした。
ついで ST 氏にご持参いただいた Diana Jean Krall の The Look of Love と
Carpenters の OFICCE55（Freak）レーベルの CD を聴いていただき、上記と同様にそれぞれ位相反転させた方が、良いのではないかということでした。
さらに、アナログ盤を Model 120 のイコライザーカーブと位相と第 4 時定数を選択しながら聴いて行きました。
最初に当方で準備した Diana Jean Krall の Wallflower のアナログ盤を RIAA の正相と Columbia の逆相で比較し、明らかに Columbia カーブの方がよく、位相については逆相だと思われ、その違いは CD に比べて大きいというご感想でした。

この後、ST 氏にご持参していただいた、Carpenters の HOROZON CARPENTERS、ミルトジャクソンカルテット、 MJQ の The Sun in the Voice、YAMA & JIRO's WAVE の GIRL TALK についてご自由に条件選択をしながら試聴していただきました。その結果、Carpenters は Columbia の逆相であるが、その他は RIAA の正相という判定をされました。特に、クレジットに RIAA と記載されているものは、記載は間違いないということでした。イコライザーカーブと位相をセットで調整する効果は、予想以上だったというご感想です。
なお、第 4 時定数の調整はせず、すべて High のままでしたが、一部、第 4 時定数の切り替えを行うとどのような変化が起こるかも体験していただきました。経験上、第 4 時定数の調整を行うと、上記の判定が変ってくる可能性もあります。
最後に、倍賞千恵子とヘンデルのメサイアをざっと聴いていただき、イコライザーカーブと位相をセットで調整することの効果を確認していただけました。
なお、上記音源の一部は ST 氏の来訪に先立ち、修理、調整等を依頼していた LINN ショップにも聴いていただきました。
LINN ショップに確認していただいたのは、キングレコード CP-2001 のカーペンターズ第 7 集アナログ盤と Universal Music UICY-1311/2 の The 10th Anniversary Edition of Carpenters の CD ですが、ともに逆相で良かろうということでした。アナログ盤の方は、逆相かもしれないということで、カーブを Columbia にし、第 4 時定数を Low にすると、これで決まりということになりました。
その後、ご持参していただいた下記を聴きましたが
アルファレコード 28R1-13（ワーナーパイニア）Wind and My Mind
　　鈴木章治とリズムエース
LINN RECORD　AKH005　Jazz ボーカル
　　Carol　Kidd
Angel　AA8109　モーツアルト歌曲集
　　シュワルツコップ(Sp)　ギーゼキング(pf)
鈴木章治は EMI、逆相、Mid で、Carol Kidd は DECCA、正相、High で、シュワルツコップは EMI、逆相、Mid で良かろうということになりました。途中、RIAA あるいは正相でも良いのではいう感想もありましたが、第 4 時定数を調整すると、上記のようになり、イコライザーカーブ、位相、第 4 時定数を個々に判定することの困難さも指摘されました。
最後に下記を聴いていただきましたが、ZANDEN 推奨の EMI、逆相、Low で素晴らしい演奏と録音であるとの評価をいただきました。
Angel AA 9117・C（東芝 EMI）
　　ヘンデル：メサイア
　　オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア

４．まとめ

バランスアナログアキュライザーの効果をご確認していただき、ST 氏にお持ち帰りいただいてご自身のシステムでの評価と、さらに持ち回りでオーディオ仲間にも聴いていただくことになりました。

アナログ盤については、ZANDEN Model 120 において、当方が進めているクラシック以外の音楽ジャンルについても、イコライザーカーブと位相の調整が、音質上大きな影響を持つことをご確認いただきました。

CD についても位相反転させた方がしっくり聴けるという場合があることをご理解いただきましたが、その差はアナログ盤ほどでもなく、音楽的な表現内容の把握を左右するほどでもないというご感想でした。

以上